



第215号

# 柿のれん

(発行者)  
 長野県厚生農業協同組合連合会  
 下伊那厚生病院  
 朔 哲 洋

(病院理念) 私たちは、地域の皆さんと共に、生活に密着した保健・医療・福祉を通じ、安心と満足の達成を目指します  
 JA長野厚生連 下伊那厚生病院 ホームページ <http://www.shimoina-hp.jp>  
 Facebook <https://www.facebook.com/shimoinakousei/>



(写真) 2019.11.14 世界糖尿病デー 今年もブルーライトアップに参加しました！(下伊那厚生病院)

### 今月の内容

- ～婦人科医師 山田智子～  
**定期的な婦人科検診をうけましょう (前編)**  
**長野県Aコープから車椅子が贈呈されました**  
**地域のお祭りに参加しました！**
- ～院内保育所 いちだっこだより⑦～  
**焼き芋**
- ～管理栄養士 梅村尚美～  
**全国厚生連の統一献立日～おすすめ郷土料理～**

### お知らせ

- インフルエンザ予防接種のお知らせ
- 今月の外来診療医

### 職員募集

- ・医師
- ・薬剤師
- ・看護助手
- ・言語聴覚士
- ・介護福祉士

お問合せはTEL0265(35)7511人事課まで



12月の壁面飾り (透析)

今すぐページに  
いいね！しよう

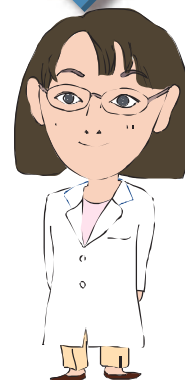
# 定期的な婦人科検診を受けましょう 前編

## 定期的って、一年に一回？ 二年に一回？ それとも五年に一回？

婦人科検診は子宮がん検診で、子宮がんと言っても子宮頸がん早期発見のための検診です。超音波検査も同時に施行すると、子宮筋腫や卵巣疾患、または子宮体がんの疑いと言われることもあるかもしれませんが、メインは子宮頸がんの早期発見



婦人科医師 山田 智子



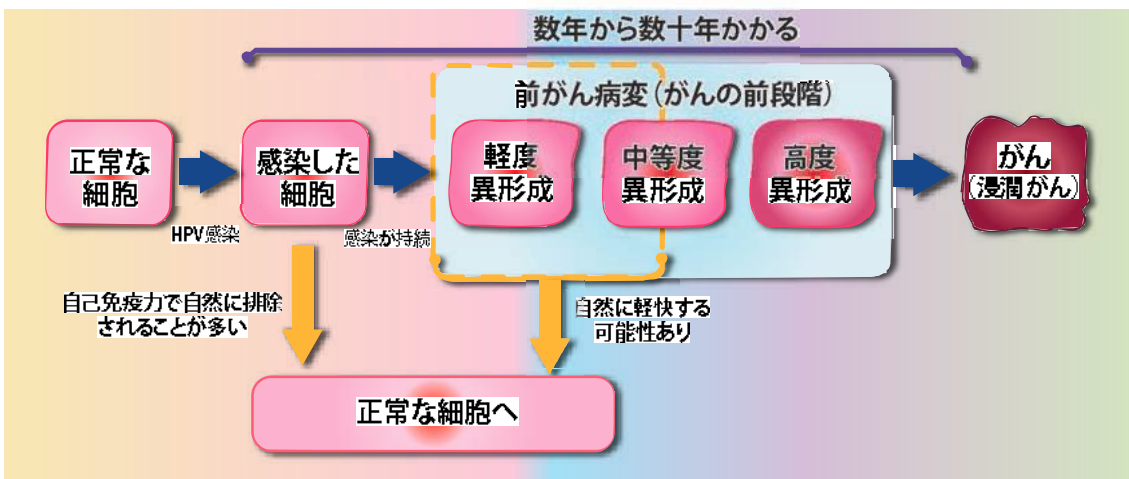
見のための検診です。

数十年前は年に一回の検診を推奨していたと思いますが、現在平成二十年以降は色々な医学的知識・研究が進んだおかげで、二年に一回の定期的な検診を推奨するようにになりました。

## 発がんの過程

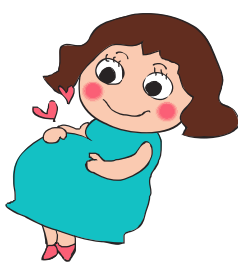
子宮頸がんの発がん過程の研究が進み、通常の子宮頸がん(すぐく特殊な稀なタイプでなければ)は、子宮頸がんとなる「前がん病変」  
Ⅱ「子宮頸部異形成」という段階を経由して、初期の子宮頸がんに進むことが分

かって来ました。そして「子宮頸部異形成」の状態も数年の経過があり、子宮がん



検診ではその「子宮頸部異形成」の段階から指摘できるようにになってきているからです。

つまり五年間は保証できませんが、一年に一回定期的な検診を受けていてもらえば、もしも発見されても、極初期の子宮頸がんであるか、または「子宮頸部異形成」の段階に留まっているはずなのです。



将来妊 娠・出産を希望する という 若い世代であつて、もしも子宮頸がんを治療を必要とするとなつても、子宮を残すことができず。

## 対象とする人は？

婦人科検診の対象は...